

脳梗塞・心筋梗塞が心配な方に

ロックスインデックス(LOX-index) 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査

● 検査価格：12,000 円（税抜）

脳血管疾患・心疾患の年間の死亡者数はがんと同水準
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。



脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患
「3人に1人」が死亡か重度の後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険のある疾患
年間「約15万人」が発症

このような方におすすめです

- 血縁家族に脳梗塞・心筋梗塞にかかった人がいる方
- 血圧、LDLコレステロール、血糖値が高めで動脈硬化が気になる方
- 40歳以上で、喫煙している方・肥満が気になる方

<検査に関する注意点>

- ◇ 妊娠中の方は検査をお受け頂けません。 ※ 妊娠中の方は数値が高く出る傾向があります。
- ◇ 風邪、関節リウマチの方は、検査数値が高く出る可能性がございます。

LOX-index[®]（ロックスインデックス）とは

ロックスインデックスは、血液中の超悪玉コレステロール(LAB)とその担い手であるsLOX-1を測定・解析することで将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価する血液検査です。

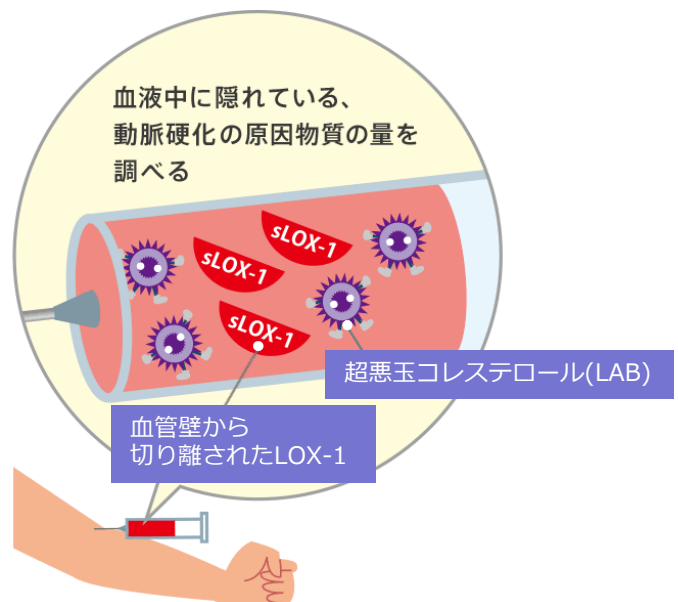
検査結果で、脳梗塞・心筋梗塞のリスクがあれば予防対策を行い
早い段階からリスク回避することに役立てて頂けます。

検査の特徴

動脈硬化の原因物質を測定
(超悪玉コレステロール(LAB)とsLOX-1)

採血(約2ml)で検査可能

別紙での検査報告レポート
(約2~3週間での発行)



LOX-indexが高いと...

LOX-indexの値が高いと動脈硬化が進行し
脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスク
が高まります。値が高くなる要因として
生活習慣（喫煙、過食、過度の飲酒等）
ストレス、運動不足等があります。

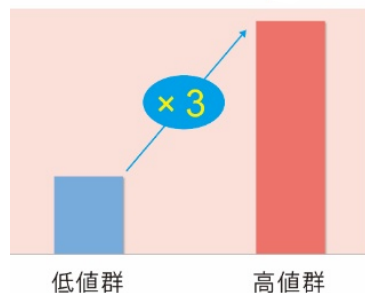
LOX-indexを受けてご自身のリスクを把握し
リスクに合わせた予防対策を始めましょう。

検査報告書（サンプル）

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載

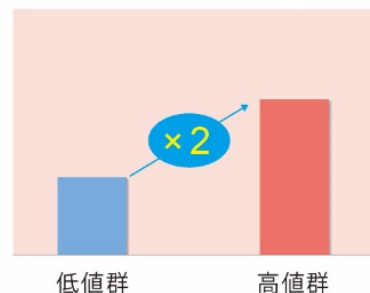
<脳梗塞発症との関係>

LOX-index値が高いと
発症数が約3倍



<心筋梗塞発症との関係>

LOX-index値が高いと
発症数が約2倍



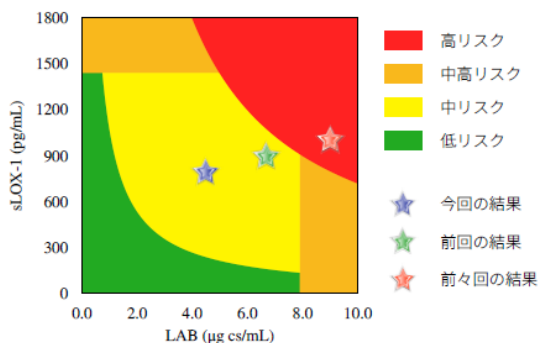
引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

LOX-index® - 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査報告書 -

★氏名 demo 様 ★受診日 2014/12/24
★カルテID 000001 ★性別 男性 ★年齢 45

総合評価グラフ

脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。



※ リスク評価検査の検査結果であり、医学的な診断結果ではありません。

LOX-index®とは？

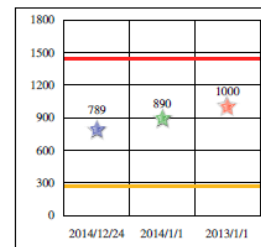
動脈硬化の初期段階は、超悪玉コレステロールLAB（酸化変性LDL）と超悪玉コレステロールの担い手であるLOX-1が結合することにより起こると考えられています。そのためLOX-index®は、LABとLOX-1を測定・解析することで、動脈硬化の初期段階を捉えることができます。また日本国内で行われた追跡研究の結果、LOX-index®が高いと将来の脳梗塞発症率は約3倍、心筋梗塞発症率は約2倍となることがわかっています。LOX-index®は脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを評価できる、唯一の検査です。

総合評価コメント

超悪玉コレステロールLAB、超悪玉コレステロールの担い手LOX-1がともに少し高めの結果で、血管障害リスク（血管が傷む危険性）が進行しやすい方向に傾いていると考えられます。高血圧、高血糖、肥満、喫煙などの動脈硬化リスクを持っている人は、治療や生活習慣の改善によってリスクを抑える必要があります。LOX-1は炎症で上昇しますので、体内に炎症の兆候がある可能性があります。また、LABは体内で活性酸素が発生することで、悪玉コレステロール（LDLコレステロール）がサビつき生成されます。これらは食生活、運動習慣によって改善できますので、生活習慣を見直しましょう。状態把握のためにも、一年後の再受診をおすすめします。

個別時系列データ

sLOX-1



評価 中 中 中
評価基準値 270 < 中 1440 < 高

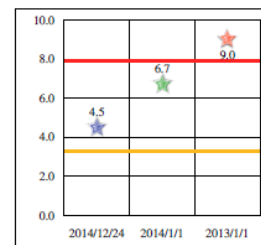
解説

超悪玉コレステロールの担い手LOX-1は、血液中から異物を取り除く働きをしています。血管に障害が起こるとLOX-1の生成が促進されるため、LOX-1は血管炎症の指標として利用されています。

今回の結果は、前回と同様にLOX-1の値が少し高い状態です。LOX-1は血中から異物を取り除く働きをしているため、酸化LDLなどに代表される動脈硬化の原因物質が多く、血管の炎症が起きていると考えられます。

この状態を改善するには、ストレスを避けることが必要です。メンタルストレスのほか、酸化ストレスにも注意して下さい。食を中心とした生活習慣の改善をお薦めします。

LAB



評価 中 中 高
評価基準値 3.3 < 中 7.9 < 高

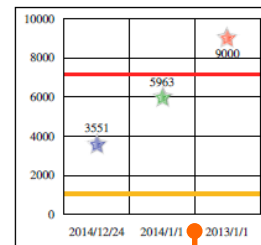
解説

超悪玉コレステロールLABは、悪玉コレステロールであるLDLコレステロールが酸化し、サビ付いた状態を示します。LDLコレステロールの一部は活性酸素等の影響によりサビつきます。このサビ付いたLDLコレステロールは動脈硬化を引き起こす原因となります。

今回の結果は、前回より改善が見られますが、LABの値がまだ少し高い状態です。

更なる改善を目指すために、生活習慣を見直してみましょう。また今後、加齢などによりリスクが上がる可能性が高いため、生活習慣の改善などでLABを下げるように心がけて下さい。

LOX-index



評価 中 中 高
評価基準値 1068 < 中 7160 < 高

解説

「LOX-index」は、脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを評価する最新の指標です。この結果は、将来の脳梗塞・心筋梗塞発症率を大きく左右します。

今回の検査結果では、前回より少し改善しリスクは中程度と評価されました。更なる改善を目指しましょう。

今後、加齢などによりリスクが上がる可能性がかなり高いため、生活習慣の改善などでLOX-1とLABを下げる必要があります。

よりよい生活習慣とストレス解消を心がけて、リスクの軽減に努めましょう。

検査結果に対する総合的なコメントや改善の方向性を提案

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き

ご予約・お問い合わせはこちら

予防医療を通じて、“人々の健康と幸福”に貢献します。

倉敷成人病健診センター

〒710-0824 岡山県倉敷市白楽町282

※各種健診の詳細は、当センターのホームページに掲載しています。「倉敷成人病健診センター」でアクセスしてください。

TEL : 086-427-3333

受付時間は、月曜日～土曜日の9:00～16:00まで

<http://www.fkmc.or.jp/checkup>